



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社うかい 上場取引所 東
コード番号 7621 URL <https://www.ukai.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）紺野 俊也
問合せ先責任者（役職名）常務取締役 統括本部長（氏名）松崎 城康（TEL）042(666)3333
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	6,479	△0.7	255	△41.3	242	△42.2	93	△72.3
2024年3月期中間期	6,524	10.3	435	282.0	419	106.4	338	53.6
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円	銭	円	銭				
2025年3月期中間期	16.72		16.72					
2024年3月期中間期	60.35		60.34					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	10,422	4,706	45.1
2024年3月期	10,760	4,699	43.7

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 4,705百万円 2024年3月期 4,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00	
2025年3月期	—	0.00				
2025年3月期（予想）			—	15.00	15.00	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,240	△0.6	555	△37.7	515	△40.6	64	△92.6	11.41	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	5,611,540株	2024年3月期	5,606,540株
2025年3月期中間期	1,443株	2024年3月期	1,443株
2025年3月期中間期	5,606,736株	2024年3月期中間期	5,605,186株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善するなかで緩やかながら回復基調で推移しております。一方で、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっているほか、物価上昇や金融資本市場の変動、中東地域をめぐる情勢悪化等の地政学リスクの拡大の影響にも注意する必要がでてきており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する外食産業においては、新型コロナウイルス感染症の収束による社会経済活動の正常化や、訪日外国人観光客の増加によるインバウンド需要の拡大等で人流の回復が一段と進み、緩やかな回復基調が続いておりますが、人手不足による人件費の高騰に加え、原材料価格のさらなる上昇や物価高による消費マインドの低下等、回復基調へ水を差す懸念事項も存在しており、事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社は2022年4月からの3年間をコロナ禍で影響を受けた収益力の早期回復、また成長力向上に向けた事業基盤の構築期と定め、「人材力の強化」「収益基盤の強化」「財務基盤の強化」の3つの重点課題に取り組んでおり、最終年度となる当期は、足元の経営基盤の強化に注力するとともに、次のステージに向け、企業価値の向上に資する中期経営計画の策定と、その計画を実行可能にする体制基盤の確立を推し進めております。2024年8月には、店舗設備の老朽化により同年11月末日をもって『うかい竹亭』を閉店することを決議したほか、契約満了により同年8月末日をもって『アトリエうかい たまプラーザ』を閉店いたしました。一方で、2024年9月に「アトリエうかい」の新たな常設店を、首都東京の表玄関ともいふべきJR東日本東京駅のエキナカ商業施設「グランスタ東京」に出店いたしました。

この結果、当中間会計期間の売上高は、6,479百万円(前年同期比0.7%減)と微減収での着地となりました。利益面については、減収の影響に加え、人員数増加の影響による人件費の増加のほか、採用強化による人材募集費や電気料金の上昇に伴う水道光熱費等の経費の増加もあって営業利益は255百万円(前年同期比41.3%減)、経常利益は242百万円(前年同期比42.2%減)となりました。中間純利益は、前述の『うかい竹亭』『アトリエうかい たまプラーザ』の閉店に伴う費用38百万円を店舗閉鎖損失引当金繰入額に計上したことにより、93百万円(前年同期比72.3%減)の大幅減益での着地となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[レストラン事業部]

新型コロナウイルス感染症の収束による社会経済活動の正常化が外食やインバウンドの需要回復を後押しし、人流の回復が加速するなか、レストラン事業部では、それぞれのブランド・店舗の特色を活かした販促活動を実施し、来店機会創出に努めてまいりました。

また、アフターコロナとなり、食に対する人々のニーズの多様化が進むなか、取り組みを加速させた最上のおもてなしの追求についても、お客様一組一組、一人一人に対してスタッフと時間を集中させることでこれまで以上に上質な料理ときめ細やかなサービスをご提供する、唯一無二のレストランであり続けるという方針のもと、定休日や営業時間の見直しを図ったほか、コース構成、並びに価格の見直しを実施いたしました。これらの営業活動により、お客様一人当たりの単価は上昇したものの、コロナ禍明けの特需が一服したこと等で来客数は前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、レストラン事業部の売上高は、5,196百万円(前年同期比1.2%減)と微減収になりました。

[物販事業部]

物販事業部の主力である製菓部門では、『アトリエうかい 高島屋京都店』『アトリエうかい 高島屋大阪店』において、売り上げの伸びに弱さがみられるものの、商品力を高めて既存店のお客様満足度の向上を図るとともに、全国の百貨店の催事出店や卸販売、EC販売の販売強化等を積極的に行うことで安定した収益確保を図っております。また、2024年9月には洋菓子店「アトリエうかい」の新店舗を、東京の表玄関ともいふべきJR東日本東京駅のエキナカ商業施設「グランスタ東京」に出店し、より多くのお客様にご利用いただけるようにいたしました。なお、『アトリエうかい たまプラーザ』は同年8月末日をもって契約満了により閉店しております。

一方、成長促進を図る食品部門においては、お取り寄せグルメのオンラインショップ「UKAI GOURMET DELI(うか

いグルメデリ)」がオープンして1年となり、多くのお客様にご利用いただいておりますが、認知度の更なる向上を見据え、「うかいのグルメ」として製菓、とうふ、冷凍商品を組み合わせて催事出店をする等、プロモーション活動の強化を進めております。

以上の結果、物販事業部の売上高は、754百万円(前年同期比1.8%増)と微増収での着地となりました。

〔文化事業部〕

文化事業部では、『箱根ガラスの森』にて、2024年4月27日から同年7月15日まで2024年初夏所蔵作品展として「ヴェネチアン・グラスと祝祭の都」を、また2024年7月19日から2025年1月13日まで2024年度 特別企画展「香りの装い～香水瓶をめぐる軌跡～」を開催しており、これらの作品展・企画展を柱に様々な企画や季節の移ろいに合わせクリスタルガラスの展示替えを行い、多くのお客様にご来館いただけるように細やかなプロモーションや旅行会社をはじめとする企業への営業の強化を行いました。

これらの営業施策に加え、訪日外国人観光客の増加によるインバウンド需要の拡大効果もあり、来館者数は前年同期比で伸長いたしました。

以上の結果、文化事業部の売上高は、527百万円(前年同期比0.9%増)と微増収での着地になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりであります。

(資産)

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ337百万円減少し、10,422百万円(前事業年度比3.1%減)となりました。主な要因は、売掛金が209百万円、有形固定資産合計が55百万円、繰延税金資産が84百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ344百万円減少し、5,716百万円(前事業年度比5.7%減)となりました。主な要因は、取引金融機関からの借入金の総額が358百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ6百万円増加し、4,706百万円(前事業年度比0.1%増)となりました。主な要因は、譲渡制限付株式報酬としての新株式発行に伴い資本剰余金が19百万円増加したのに対し、投資有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が11百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年5月17日付の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年11月8日)公表いたしました「2025年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,817,367	1,792,211
売掛金	766,982	557,105
商品及び製品	183,834	203,347
仕掛品	19,062	38,293
原材料及び貯蔵品	349,785	337,875
その他	153,288	179,172
貸倒引当金	△62	△45
流動資産合計	3,290,259	3,107,960
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,767,282	9,834,235
減価償却累計額	△7,796,153	△7,928,273
建物(純額)	1,971,128	1,905,961
土地	2,187,591	2,187,591
美術骨董品	1,096,635	1,096,635
その他	4,123,391	4,115,931
減価償却累計額	△3,779,238	△3,761,868
その他(純額)	344,153	354,063
有形固定資産合計	5,599,509	5,544,252
無形固定資産	64,796	56,288
投資その他の資産		
投資有価証券	114,439	104,354
繰延税金資産	598,993	514,746
敷金及び保証金	1,076,928	1,079,856
その他	15,557	15,489
投資その他の資産合計	1,805,919	1,714,445
固定資産合計	7,470,225	7,314,986
資産合計	10,760,484	10,422,946

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	309,028	255,700
短期借入金	1,000,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	229,420	241,420
未払法人税等	17,177	19,653
賞与引当金	116,258	121,730
店舗閉鎖損失引当金	—	38,177
その他	1,286,628	1,220,582
流動負債合計	2,958,513	2,647,263
固定負債		
長期借入金	1,734,675	1,613,965
退職給付引当金	1,148,284	1,180,353
資産除去債務	218,395	275,024
その他	848	—
固定負債合計	3,102,203	3,069,342
負債合計	6,060,717	5,716,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,871,861	2,891,811
利益剰余金	1,704,253	1,702,738
自己株式	△3,409	△3,409
株主資本合計	4,672,705	4,691,140
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,827	13,965
評価・換算差額等合計	25,827	13,965
新株予約権	1,234	1,234
純資産合計	4,699,767	4,706,340
負債純資産合計	10,760,484	10,422,946

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,524,222	6,479,196
売上原価	2,867,335	2,858,044
売上総利益	3,656,886	3,621,152
販売費及び一般管理費		
販売促進費	122,570	125,863
役員報酬	66,620	84,555
株式報酬費用	—	3,627
給料及び手当	1,120,470	1,116,107
賞与引当金繰入額	72,392	74,110
退職給付費用	38,521	35,142
福利厚生費	181,017	193,337
水道光熱費	126,242	143,796
消耗品費	114,348	123,067
修繕費	106,825	87,689
衛生費	119,411	118,039
租税公課	43,946	40,253
賃借料	411,481	420,231
減価償却費	139,316	147,034
その他	557,974	652,417
販売費及び一般管理費合計	3,221,139	3,365,273
営業利益	435,746	255,879
営業外収益		
受取利息	2,532	2,519
受取配当金	884	1,217
その他	9,881	8,824
営業外収益合計	13,298	12,562
営業外費用		
支払利息	20,196	19,952
その他	9,553	6,204
営業外費用合計	29,750	26,156
経常利益	419,294	242,285
特別損失		
固定資産除却損	1,586	2,091
減損損失	—	2,176
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	38,826
特別損失合計	1,586	43,094
税引前中間純利益	417,707	199,190
法人税、住民税及び事業税	8,588	19,653
法人税等調整額	70,832	85,765
法人税等合計	79,420	105,418
中間純利益	338,286	93,771

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	417,707	199,190
減価償却費	197,512	203,080
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,274	32,068
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	38,177
受取利息及び受取配当金	△3,417	△3,737
支払利息	20,196	19,952
固定資産除却損	1,586	2,091
減損損失	—	2,176
売上債権の増減額(△は増加)	155,842	209,877
棚卸資産の増減額(△は増加)	△60,417	△25,966
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,156	△53,328
未払消費税等の増減額(△は減少)	△159,272	△17,273
その他	91,309	△86,288
小計	645,167	520,021
利息及び配当金の受取額	917	1,237
利息の支払額	△25,351	△19,706
法人税等の還付額	296	306
法人税等の支払額	△16,929	△17,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,100	484,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,748	△85,492
その他	△25,714	△11,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,462	△97,399
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,495,000	△250,000
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△135,110	△108,710
自己株式の取得による支出	△470	—
預り保証金の純増減額(△は減少)	—	51,470
配当金の支払額	△83,646	△94,655
その他	△14,520	△10,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,228,747	△412,437
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△745,110	△25,155
現金及び現金同等物の期首残高	2,289,294	1,817,367
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,544,184	1,792,211

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、会社法第447条第3項の規定に基づき、2024年6月27日開催の取締役会決議により同年8月2日付で資本金の額の減少を実施しており、資本金9,975千円をその他資本剰余金に振り替えております。

また、2024年6月27日開催の取締役会決議に基づき、同年8月2日付で当社の取締役(社外取締役を除く。)に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行っており、資本金及び資本準備金が9,975千円それぞれ増加しております。

この結果、当中間会計期間末において、資本金は100,000千円、資本剰余金は2,891,811千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン 事業部	物販 事業部	文化 事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,260,237	740,745	523,239	6,524,222	—	6,524,222
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,260,237	740,745	523,239	6,524,222	—	6,524,222
セグメント利益	808,161	24,149	82,407	914,718	△478,971	435,746

(注) 1. セグメント利益の調整額△478,971千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン 事業部	物販 事業部	文化 事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,196,991	754,277	527,928	6,479,196	—	6,479,196
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,196,991	754,277	527,928	6,479,196	—	6,479,196
セグメント利益	731,146	23,197	68,929	823,273	△567,393	255,879

(注) 1. セグメント利益の調整額△567,393千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	レストラン 事業部	物販 事業部	文化 事業部	
減損損失	—	2,176	—	2,176

(重要な後発事象)

当社は、2024年10月28日開催の取締役会において、固定資産の譲渡および賃借について決議しております。

1. 譲渡および賃借の理由

当社は、2023年3月期から2025年3月期の3年間で「収益力、成長力向上に向けた事業基盤の構築期」と位置づけ、「人材力の強化」「収益基盤の強化」「財務基盤の強化」を図ることで強い事業基盤の構築を進めております。

今般、財務基盤の強化策の一つとして、経営資源の効率化を図るため、また2026年3月期以降の経営計画に向け、本件で得た資金を有効かつ機動的に活用するため、当社が保有し、「箱根ガラスの森」(以下「当該施設」)として運営する固定資産(土地、建物、美術品、以下「当該資産」)の譲渡および当該資産の賃借の実施を決定いたしました。本件は、経営資源を効率化しつつ、引き続き、当社が当該資産を賃借、運営するため、当該施設を訪れるお客様には変わらず、ご満足いただけることから非常に有用と判断しております。

2. 譲渡する資産の内容

資産の内容(所在地)	現況	帳簿価額	譲渡価額	譲渡損※
土地23,577.27㎡、 建物 3,112.95㎡ (神奈川県足柄下郡箱根町)	施設を運営	2,335百万円	3,100百万円	222百万円
美術品 306件(—)	施設で使用	897百万円		

※譲渡損は、譲渡価額から帳簿価額および譲渡にかかる費用等の見積額を控除した概算額です。

3. 譲渡先および貸借先の概要

(1) 譲渡先 (2024年3月31日現在)

① 商号	ダイコク電機株式会社	
② 本店所在地	愛知県名古屋市中村区那古野一丁目43番5号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 栢森 雅勝	
④ 事業内容	情報システム事業、アミューズメント事業	
⑤ 資本金	674百万円	
⑥ 設立年月日	1973年7月	
⑦ 純資産(連結)	40,720百万円	
⑧ 総資産(連結)	59,281百万円	
⑨ 大株主および持株比率	円谷フィールズホールディングス株式会社	20.01%
	株式会社KCプラス	8.11%
	栢森 雅勝	6.10%
⑩ 当該会社との関係	資本関係	該当事項なし
	人的関係	該当事項なし
	取引関係	該当事項なし
	関連当事者への該当状況	当該会社は当社の関連当事者には該当しません。

(2) 貸借先

貸借先(および当該契約の内容)は、契約上の取り決めにより、公表を控えさせていただきますが、貸借先はダイコク電機株式会社の関係会社となります。貸借先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特筆すべき事項はありません。

4. 本取引の日程

- (1) 取締役会決議日 2024年10月28日(月)
- (2) 契約締結日 2024年10月29日(火)
- (3) 引渡日 2024年11月1日(金)
- (4) 貸借契約開始日 2024年11月1日(金)

5. 業績に与える影響

当該資産の譲渡に伴い、2025年3月期決算において、譲渡価額から帳簿価額および譲渡に係る費用等の見込み額を控除した譲渡損222百万円を特別損失(固定資産売却損)に計上する予定です。